

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年5月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870700283		
法人名	社会福祉法人 芳香会		
事業所名	グループホーム 穂の香	ユニット名	
所在地	〒307-0038 茨城県結城市大字七五三場365		
自己評価作成日	平成23年8月27日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報公表支援センターのホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870700283&amp;SCD=320&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870700283&amp;SCD=320&amp;PCD=08</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年10月12日	評価確定日	平成24年4月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>グループホームは、より高度なレベルの専門性が求められる集大成の場所であると認識しており、介護福祉士等の専門職をなるべく多く配置し、知識や技術を含めた専門性の高いサービスを提供できる様にしている。</p> <p>また抑制や行動制限等を行わず、対象者のありのままを受け止め、安心出来る家作りを目指している。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>同一法人の養護老人ホームや特別養護老人ホームが隣接されており、連携が図られ協力体制が整っている。</p> <p>職員は利用者一人ひとりを大切にし、尊重した対応をしている。</p> <p>事業所は高台に立地しているため日当たりが良く、木立や田んぼが眺められる環境にある。</p> <p>事業所は外部評価を2年に1回とすることができるが、気を緩めることなく運営していきたいとの思いから1年に1回調査を受審している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営方針、基本指針、行動規範を定め会議等でそれらを共有し、日々のミーティング時においても唱和している。	事業所独自の理念を職員で検討し、地域密着型サービス事業所としての理念を作成している。 管理者や職員は毎朝理念や運営方針、職員行動規範を唱和し実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	各季節行事に招待し継続的な交流を図っている。また地域清掃活動において共に参加し交流を図っている。	事業所周辺に民家は無いが、隣接している同一法人他施設と合同で実施する花見会や納涼祭などの行事に地域の人々を招待して交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時の報告、話し合い。行事ボランティア方との交流（共に時間を共有）、介護学生の受け入れ等を通して地域に理解、支援法を広めている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は家族等の代表や市職員、区長、民生委員、管理者、事務所職員等で2ヶ月に1回開催し、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	運営推進会議は市職員や区長、民生委員、家族等の代表、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 18時から19時の時間帯を会議に充て、多くの委員の参加が得られるように工夫をしている。 会議では社会福祉法人として専門性の高いサービスを提供していることを理解してもらえるように、サービスの実際や取り組みを資料としてまとめ、説明をしている。 時には専門職の資格を取得する場合の受験問題を解いてもらい、解説をしている。 会議で出た意見等はサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	空き情報等を報告したり、ケアマネジャー連絡協議会への加入、また今年度より地域密着型サービス事業所連絡会へ加入し、市との連携を図っている。	ケアマネジャー協議会に加入し、日頃から市担当者と連絡を取り合っている。 今年発足した地域密着型サービス事業所連絡会に加入し、市担当者や他事業所と意見交換をして協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や日常業務内の職員同士で注意しあう関係づくりをし、身体拘束の弊害について全員周知している。また日中は玄関を開放する等、拘束を行っていない。	職員は身体拘束排除に向けた外部研修に参加するとともに伝達研修を行い、身体拘束の弊害などについて職員間の共有認識を図っている。 日中玄関は施錠せず身体拘束をしないケアを実践しており、虐待防止のために言葉遣いや声のトーンにも注意を払っている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や日常業務内において職員同士で注意しあう関係づくりをし全ての虐待が起こらない様、取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	会議等での話し合う場を設けている。現在は利用者該当者はいないが必要な人がいる場合は積極的に支援していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書及び重要事項説明書等を充分理解して頂くよう丁寧に説明を行っている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付担当者をおき、管理者においては、その苦情解決責任者になっている。法人内で苦情解決第三者委員を設置し、その会で報告したり、運営推進会においても報告し、サービスの質の向上につなげている。また委員のポスターを玄関口に掲示している。	職員は家族等の来訪時に利用者の近況を報告するとともに、意見や要望を聴くように努めている。法人に苦情解決のための第三者委員会が設置されており、苦情等が出た場合は検討し結果を運営推進会議で報告しているほか、運営に反映させてサービスの質の向上に努めている。前回の外部評価結果で無記名のアンケート実施が期待されていたが、東日本大震災の対応で実施するまでには至っていない。	事業所は無記名のアンケート実施を「なんでも言ってもらえる機会」と捉えており、今後の努力課題としているので、実現に向けてさらなる努力を期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員の定期的面接（6ヶ月に1度）を実施し、意見交換を行っている。	管理者は6ヶ月に1回職員が自己評価を実施する機会に個人面談を行い、職員の意見等を聞くとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入し個々の職務遂行能力の向上に努めている。また次世代育成行動計画策定し「ノー残業デイ」の定着化や有給休暇やリフレッシュ休暇の積極的取得に取り組んでいる。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	E式システムを活用し個別の能力向上、開発に努め、段階的な育成を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地元のケアマネ協議会、地域密着型サービス事業所連絡会へ加入参加し情報・意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に当ホームの見学をして頂き、ご本人様に雰囲気を感じて頂く。また基本情報シートを駆使し、職員間で周知する事としている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご本人様と当ホームの見学をして頂き、雰囲気を感じて頂く。その際、面接をし、基本情報に加え相談や要望等を聞く時間を設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者がご本人様・ご家族様と面接を行い、必要に応じたサービスの助言をさせて頂いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理、掃除、洗濯等、日常生活動作を一緒に行う事で出来る事を引き出し、共に支えあえる様な関係作りを心掛け、実施している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回入居者の生活状況をお知らせする「穂の香メール」等を送付している。訪来時は随時状況を報告したり、常にご家族様との連絡を密にとる様になっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	積極的な面会の実施、馴染みのものを持ち込んでもらう等との関係を切らない様、支援を組み立てている。	利用者の友人が訪ねてくることは無いが、家族等がかかりつけ医への受診や行きつけの理・美容室に付き添っている。 職員は家族等に積極的に面会に来てもらえるよう、来訪時に声をかけたり電話で呼びかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	掃除や洗濯たたみ等、互いに協力しあい行っている。また余暇活動を通してコミュニケーションを図っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ケースにもよるが、現在までは継続的支援が必要な退居者はいない。今後必要な方が発生した場合は支援していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時、ご本人様より意向を聞いている。困難な場合はケアカンファレンスで話し合い検討している。	職員はカンファレンスで話し合い、利用者の思いや意向を共有している。 意向の把握が困難な利用者の場合は家族等から話を聴いたり、日々の生活の中で利用者の言葉や表情から思いを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や面会時に生活歴等を聞き、把握に努めている。居宅支援事業所等の担当ケアマネに連絡しサービス利用経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の状態が分かるような介護記録をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者がより良い生活が送れる様、入居者やご家族の意見を聞くと共に、ご家族や担当職員、計画作成担当でケアカンファレンスを開催し介護計画を作成している。	家族等参加のもとカンファレンスを実施して介護計画を作成するとともに、定期的な見直しや状況の変化に即した見直しをしている。 利用者の心身の状態や生活状態をモニタリングして総体的評価を行い、家族等に書面で報告をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録、活動記録等に日々の様子を記入している。また申し送りノートを活用し情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所の多機能並びに法人全体での支援体制の広さから様々な要望に応じられる支援体制を組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事、外出時のボランティアや避難訓練実施時等、地域の人々に協力をしてもらい支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入居前の馴染みのかかりつけ医を継続的にご家族様付き添いにて受診して頂いている。しかしご家族が付き添いが困難なケース等は隣接している施設の提携医往診した際に、受診できる様に支援している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は家族等が付き添っており、職員は適切な受診ができるよう利用者の状態の記録を家族等に渡すとともに、受診結果を聞いている。 協力医療機関の医師が隣接する養護老人ホームを往診した際は、希望する利用者が受診できるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接している施設看護師の支援並びに訪問看護との連携を図りながら支援している。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は面会に行く等し、状況把握に務めると共に、担当医、並びに看護師との連携を図っている。また入退院時に付き添う支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や緊急時の対応については早期から話し合い方針の共有のもと支援を行っている。終末期ケアの方針は共有しているが特に主治医との連携が個別対応となっており全員が終末ケアを受けられる状況ではない。	事業所は看取りをしない方針で、契約時に利用者や家族等に説明して承諾を得ている。重度化した場合や緊急時は協力医療機関の医師やかかりつけ医、家族等と話し合うとともに家族等の意向を確認し、入院などの支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルが作成されていて定期的訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月1回の事業所独自の防災訓練・教育が行われている。また2ヶ月に1回の防災会議と年2回の合同避難訓練・土砂災害訓練が行われ近隣施設との連携も確立されている。	年1回総合訓練を実施しているほか、年1回消防署立会いのもと事業所独自の避難訓練を実施しており、避難経路や避難場所の看板を掲示している。今年の6月には同一法人の養護老人ホームや特別養護老人ホームと合同で市職員や地域の自警団立会いのもと、土砂災害訓練を100人規模で実施している。事業所は丘の上に位置しており、市の防災区域に指定され警報が入るシステムになっている。近い人家でも事業所から200m離れていることから、避難訓練に地域住民の参加を得るまでには至っていない。避難訓練の実施記録を作成するとともに今後の対策を検討し、運営推進会議で報告をしている。白米や乾パン、缶詰などの食糧や飲料水、毛布、防災用品を60人6日分備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング時において入居者の名前をイニシャルで呼ぶ事でプライバシーの保護に努めている。面会簿においてもノート型ではなく1枚用紙に記入して頂きその都度専用BOXに入れて頂いている。また個人名の入った書類の破棄には必ずシュレッターをかけている。	職員は利用者のプライバシーを損ねないように、ミーティング時はイニシャルで話し合っている。職員は研修や職員会議を通して守秘義務について十分理解をしている。利用者の個人情報に関する書類等は、部外者から見えない書棚で管理をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どのような場面においても入居者を尊重する様に務めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の訴えや希望に則した対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に衣服等を選んでもらっている。理美容は各自地域の馴染みの店に行っては頂いているが都合がつかない方は隣接施設に月2回、出張理容来荘があるので活用している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人に合った調理器具を使用し一連の作業をスタッフと行っている。	食材は宅配業者を利用しているが、月1回は買い物をしたり、自家菜園で収穫した作物を使用して調理をしている。 利用者は職員と一緒に、できる範囲で楽しみながら調理をしている。 食事が楽しめるよう、2ヶ月に1回外食を支援している。 職員は利用者の好みを把握しており、嫌いな食べ物には代替食を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材購入業者に習慣の献立作成やカロリー計算を委託している。またスタッフによる検食を行うと共に、一人一人の食事量や水分摂取を記録しスタッフ間で情報共有している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔衛生の声掛け誘導、一部介助行い清潔保持と誤嚥性肺炎防止に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し個々の排泄パターンを把握している。また温清拭タオルを使用し爽快感を得ると共に皮膚疾患予防を行っている。	職員は排泄チェック表から利用者の排泄パターンを把握し、リハビリパンツを使用している利用者にもトイレ誘導をしたり、時間を見計って声かけをすることにより昼夜共におむつを使用しないで済むように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方には食物繊維の豊富なおやつや乳酸飲料の提供。また全入居者に適度の運動や水分摂取声掛けの推進を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日はある程度固定せず、本人の意思や健康状態に合わせて提供している。数種類の入浴剤を使用し日替わりで香りや色の違いを楽しめる様にしている。また同姓介護を実施している。	水曜日以外は入浴ができるようになっており、利用者の希望や体調に合わせて週2回入浴ができるように支援をしている。 入浴を拒否する利用者には、無理強いせず清拭で対応している。 入浴介助を同性介助にしたところ、抵抗感なく穏やかに楽しい入浴ができるようになり、良い結果が出ている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床や就寝時間は、ある程度ご本人に任せ少しでも在宅での生活に近づいた支援を行っている。居眠りされる姿が頻回に見られたり体調変動が見られた際は休息促す声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常時服薬している薬や頓服薬は訪問看護の助言により知識の習得に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日課がある程度決まっている為、「その人らしさ」を最大限に活かすという所には至っていないが、現状においては外出会を設けたり、天気の良い日はウッドデッキに出られたり、散歩、畑見学、犬触れあい、託児所子供交流を行ったりと気分転換を図っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月開催されている近隣の縁日に出掛け地域の人々と交流しながら買い物等を楽しんでいる。またホーム敷地内にベンチを置き、季節の花等を眺められる環境づくりをしている。	地域の神社の縁日に出かけ、地域の人々と交流しながら買い物をすることが利用者の楽しみの一つとなっている。 日常的に徘徊する利用者には職員が散歩につき添ったりドライブで対応をしている。 利用者は家族等の来訪時に家族等と一緒に外出や外食をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様判断にてお金を預けていないというのが大半である。買い物時に一緒に行く入居者には会計時に財布（ホーム）からお金を出して頂きお金の認識を高めて頂いている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実行できる入居者は限られてくるが要望時やスタッフ声掛け時にて会話交流を図っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は一般家庭と同じ構えで入りやすい雰囲気になっている。対面式の台所がある食卓兼居間は電動開閉の天窓があり、快適な居用空間となっている。	居間兼食堂は天窓から陽の光が入り、ガラス戸を開けるとウッドデッキにつながっている。ウッドデッキには椅子が設置され、利用者が一人になれる場所となっている。 廊下に利用者が作成した季節のはり絵や折り紙の作品、行事の写真を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。 犬を飼い、動物が持つ癒しの効果を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂ホールにソファが2つあり気の合った入居者同士で語り合いの場を設けている。また居室場所も各自認識しておりその時の心身状況に応じて活用している。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者は使い慣れた家具や壁飾り等、好みの物を持ち込み居室に設置してある。	利用者は使い慣れた家具やテレビを持ち込んだり、家族等の写真や自分が作った作品を飾っている。 居室は清潔に保たれており、ベッドや小衣裳箆筒、エアコンを完備している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に手すりを付けて安全且つ自立的歩行、車椅子自走を行って頂いている。またトイレ前にはトイレと分かる掲示をかざし場所を認識して頂く工夫をしている。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム穂の香

作成日 平成24年4月23日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者や御家族様が意見、要望が言いにくく運営に反映されていない。	気兼ねなく意見、要望を述べて頂く。	中々スタッフの前では言いにくいという事を鑑み、無記名アンケート実施を行う。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。